

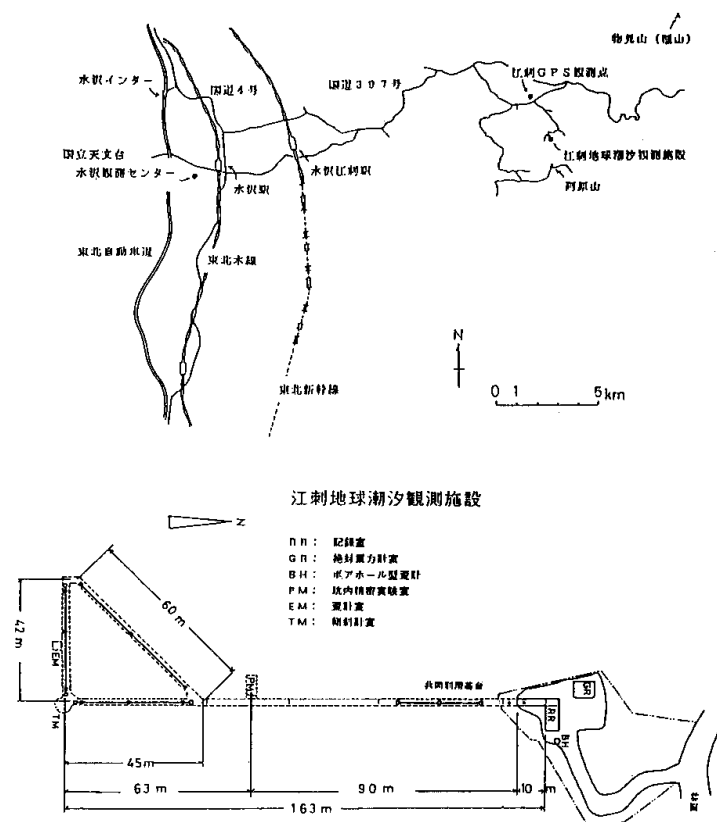
2 - 7 江刺における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

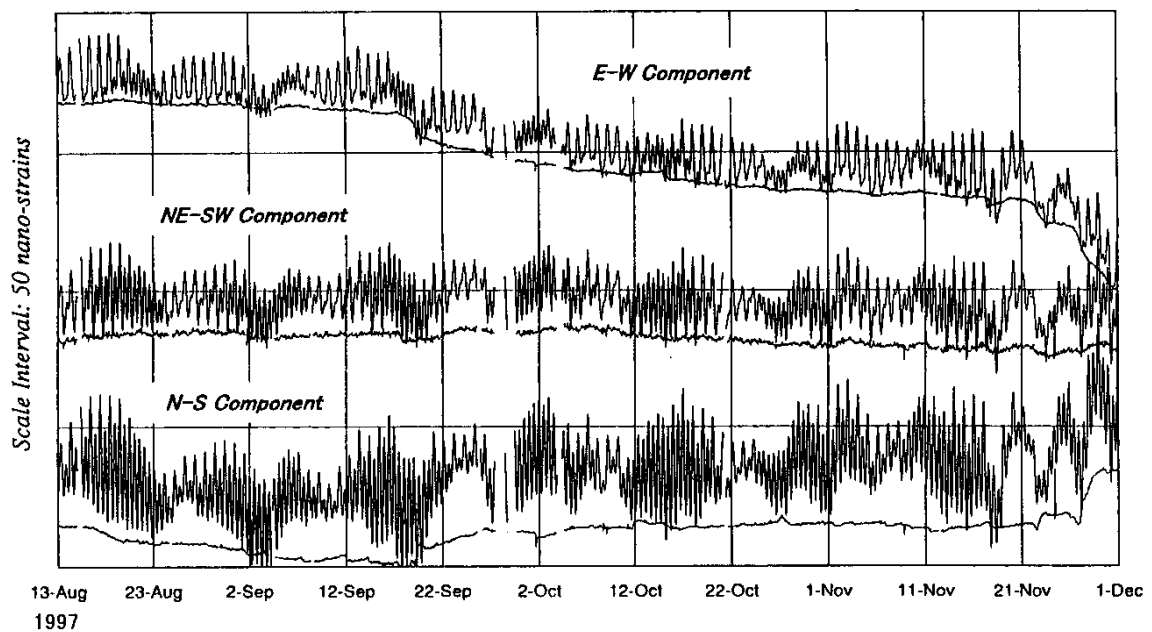
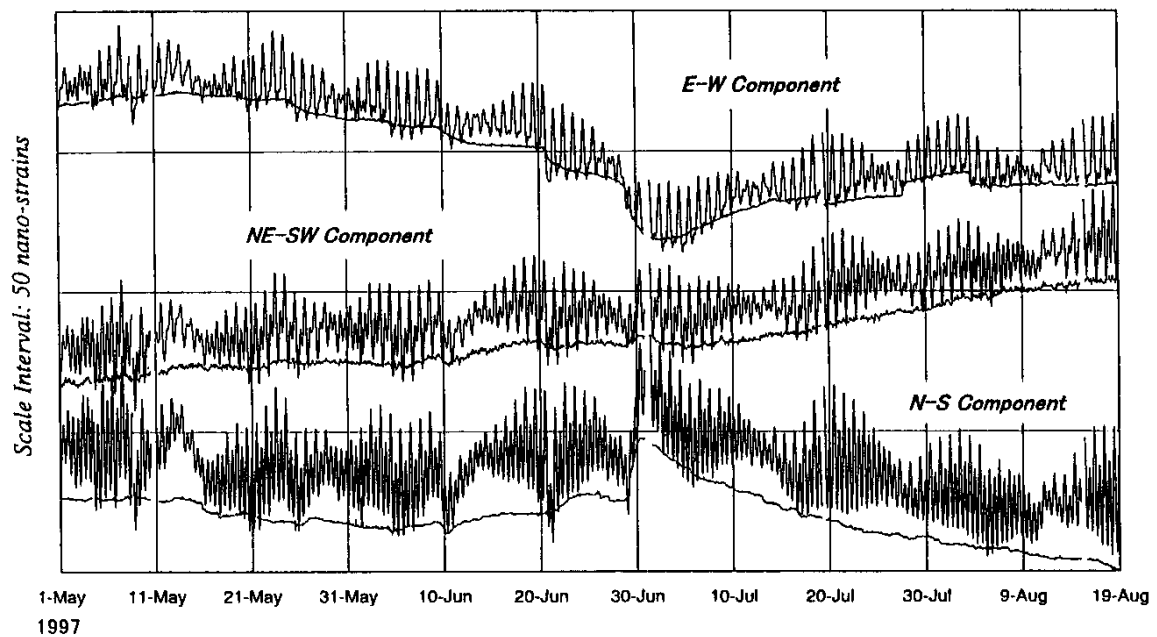
National Astronomical Observatory Mizusawa

国立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において、1997年11月までに得られた地殻変動連続観測の結果を報告する。観測点の位置および計器の配置は、第1図のとおりである。第2図には1997年5月1日以後の石英管伸縮計3成分の毎時実測値、およびそれらから潮汐と気圧の効果を除いたものを示す。前回報告以後の約6ヶ月には、とくに注目される地震などは周辺に発生しておらず、概ね平穏に経過した。第3図は伸縮3成分の毎日0時値の変化である。最近の6ヶ月間の変化は従来からの傾向とほぼ同じである。第4図は江刺地球潮汐観測施設の北方約1Kmの江刺GPS観測点と水沢観測センター屋上とに設けた固定アンテナ間で行っているGPS干渉測位の1995年12月1日以後の結果である。基線長が短いこともあり、有意な変化は認められない。

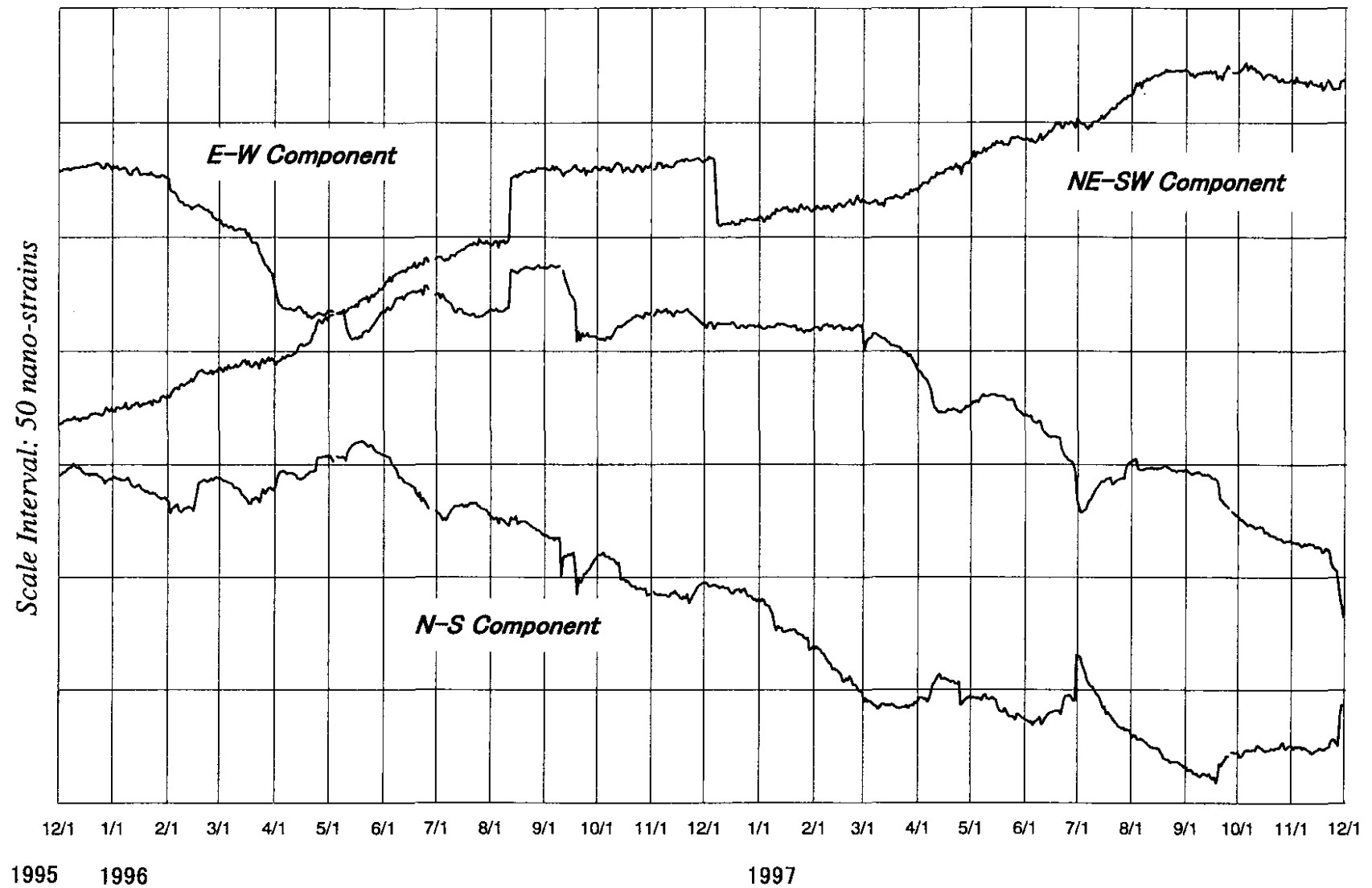


第1図 観測点の位置と観測機器の配置

Fig.1 Locations of observation sites and arrangement of instruments at Esashi Earth Tides Station.

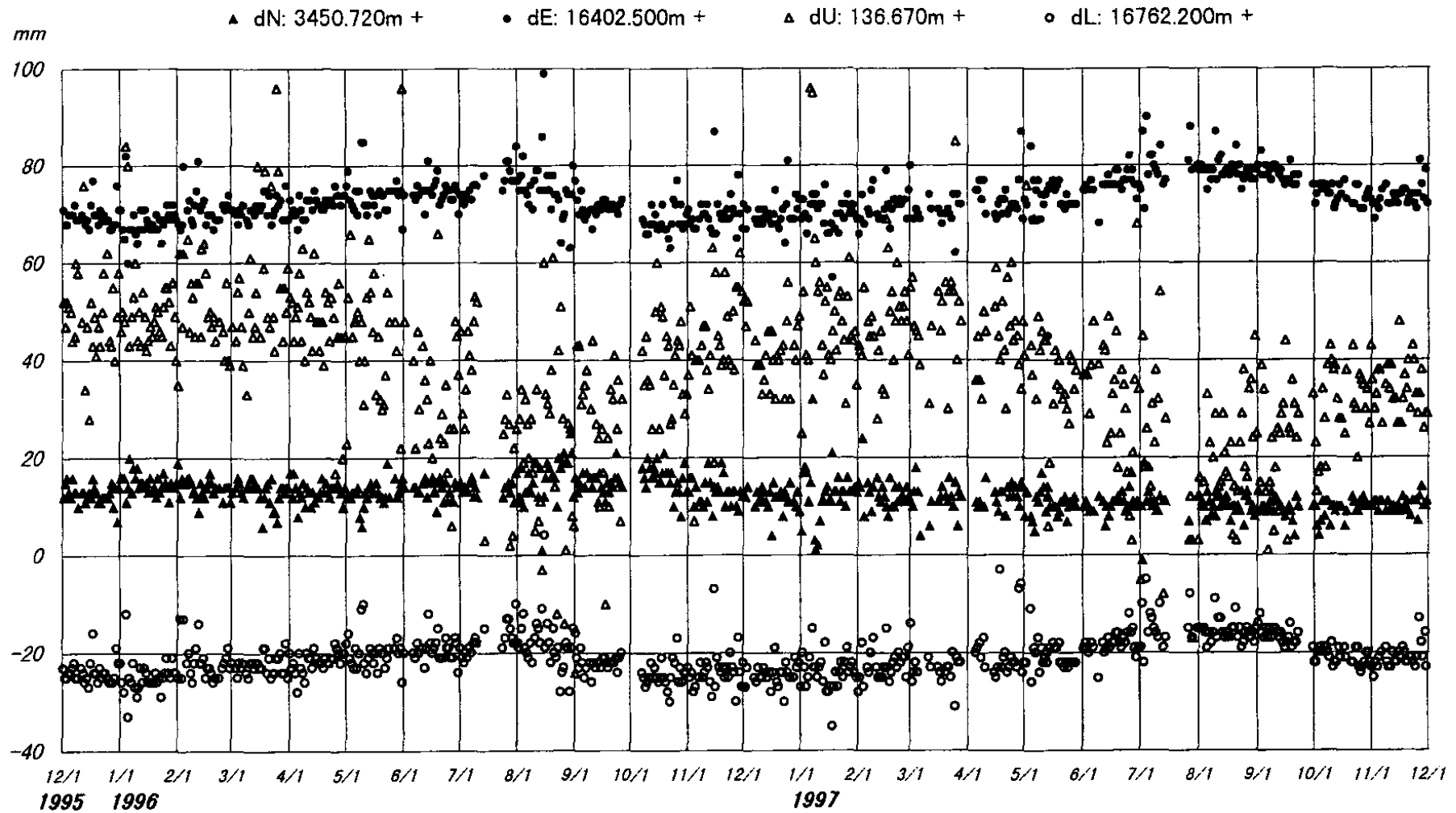


第 2 図 1997 年 5 月以後の石英管伸縮計の毎時値および潮汐・気圧の効果を除いた値の変化
 Fig.2 Hourly changes of ground strain with quartz-tube extensometers and those corrected for the effects of earth tides and air pressure since May 1, 1997.



第 3 図 最近 2 年間の伸縮 3 成分の毎日 0 時値の変化

Fig.3 Daily changes of strain corrected for the effects of earth tides and air pressure since December 1, 1995



Receivers: Trimble 4000SSE Software: GPSurvey 2.0/2.2

第4図 最近2年間の水沢 - 江刺基線のGPS干渉測位による基線各成分の変化。

Fig.4 Daily changes of Mizusawa-Esashi GPS baseline with Trimble 4000SSE receivers since December 1, 1995.